

第 47 回安曇野市都市計画審議会 会議概要

1	会議名	第 47 回安曇野市都市計画審議会
2	日時	令和 3 年 7 月 30 日 午後 2 時 00 分から午後 3 時 01 分
3	会場	安曇野市役所 3 階 議会全員協議会室
4	出席者	柳澤吉保会長、降旗幸子委員、佐原悦司委員、増田英治委員、 衛藤悦郎委員、岡江正委員、峯村幸男委員、山根宏文委員、笠井明委員、 松枝功委員、一志信一郎委員、宮下明博委員、 藤本済委員代理：金子裕建築課長、唐沢則夫委員
5	説明者	安曇野建設事務所 矢口課長、北村補佐、中沢係長
6	市側出席者	都市建設部 坪田部長、都市計画課 横山課長、山田係長、 黒岩主査、城田主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0 人 記者 0 人
8	会議概要作成年月日	令和 3 年 8 月 16 日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開会
- (2) 部長あいさつ、会長あいさつ
- (3) 議事 意見聴取  
安曇野市都市計画道路の変更について（長野県決定）
- (4) その他
- (5) 閉会

【意見概要】

- 今後、県の都市計画審議会を経て都市計画決定されるということだが、いつ頃の目途か。また、今まで県の都市計画審議会でのどの程度の議論がされているのか。
- 県の都市計画審議会は、9月 10 日に予定をしており、都市計画決定については、年内を目途としている。  
県の都市計画審議会では6月 11 日に調査審議として審議されているが、意見の内容までは把握していない。
- 三川合流部付近に人工物ができることで、色々な方のご意見や反対があったと思う。  
三川合流の辺りは手つかずの自然が残っていて、貴重な場所である。安曇野の山、田、水がきれいだというイメージを守っていかなくてはいけない。  
道路自体は問題ない、高架であることに対して意見を言うものではないが、構造に関して、一番コストを抑えたピアではあるが、観光の場所という意味合いで、如何にも人工物というものは極力避けていただきたい。  
これから長野県が観光で復活していくという意味では、景観とか環境に調和したデザイ

ン性が求められるのではないか。ただ合理性や金額的なものだけではなく、安曇野の風景や観光に直結してくる視覚的な部分を今からデザインしておかないと、とても大事なものを失っていく可能性がある。コストもあるが、ぜひ吟味していただきたい。

→ 三川合流部の工事等については、モニタリング等実施しながら、極力影響が少ない形にしていきたいと思う。環境への配慮についても、モニタリング等行いながら、やっていきたいと思う。観光に資する道路ということで進める。今日示したものは、概略のフォトモンタージュなので、これから詳細な設計を進め、形などについて、色々と案を示しながら、皆さんのご意見を頂戴しながら進めてまいりたいと考えている。

○ 今後、長野県自体がインバウンドなどに頼らざるを得ないとすると、来た時にがっかりさせないもの。構造物が目に入っても、違和感がないもの。構造のきれいな高架部分をつくっていただきたい。

○ 安曇野北インター仮称付近に、市道豊科 4038 号 T 字交差点とあるが、どのような役割か。

→ 目的はこの地域に住まわれている皆さまの利便性を考慮して、立体交差ではなく平面的な交差で、設置したいということで、県と市で考えたもの。このようになるかはまだ検討段階。

この場所よりもっと北側ではアクセス道路を作る計画で、そちらが 19 号とのアクセスを考えた道路として考えている。

○ 都市計画の素案についてはこの通りで良いと思う。

今どきの気象変動等考えた場合、路面水の流れがどのようになるのか。内水で被害が講じないようなことも考えていかななくてはいけない。是非、水の流れについて考慮していただきたい。

→ 詳細設計書を詰める中で検討してまいりたい。

○ ドイツの川沿いに素晴らしい景色があり世界遺産であったが、渋滞解消のために橋を作ったら世界遺産から除かれたところがある。

スイスは憲法で景観を謳っている。観光的な美しい景観があるが、製造業の国で、九州位の広さに世界のトップ企業が集まっている。なぜ誘致できているかという、美しい景観があるからである。

高架橋など、明らかに無機質の人工物では、安曇野の将来はどうなるのか。

大王わさびに何回も来る東京のリピーターは安曇野の暮らしを体験して、四季の移ろいを楽しんでいるというのが圧倒的に多い。こういった人たちも、安曇野市に来なくなる可能性がある。

全国では、富良野、美瑛、安曇野と同じイメージを持たれているが、実際来てみるとがっかりしてしまう。大王わさび農場がもっと広がっていると思っている方も結構いる。

ゼミで学生と、安曇野の将来について話したとき、安曇野に生まれ、20 年経っているがビルやいろいろな建物がいっぱい建ってきて、ふるさとの良さがなくなっていると言う。

道路ができて、糸魚川まで行けるようになれば便利になるため、良いが、そういうことも考えながら、進めていただきたい。産業を維持するにしても美しい景観は大事である。

- 情報として聞いていただきたい。先週NHKのBSでクールジャパンという番組があり、安曇野を取り上げていた。

廃線敷あたりで散歩というテーマであったが、その中で司会者の鴻上さんは、色々な散歩の提案があるが安曇野のまちづくりの散歩が一番良いと最後に言ってくれた。

皆さんが思う以上に世間から見ると安曇野という名前とかブランド、実際のまだ残っている自然とか散歩道みたいなものは魅力がある。

安曇野に来た方ががっかりさせないようなものを是非お願いしたい。

「意見集約」

道路整備に際して、特に高架橋部分がいかに人工物というような感じの構造物にならないように、安曇野の豊かな自然や景観と調和するようにお願いしたい。

また、近頃の気象変動等に対応して、路面水の処理を適切に行い内水で被害が講じないよう考慮していただきたい。

道路の計画については、このまま進めていただいて問題はない。

以上